



保健センターから
のお知らせ

毛呂山町保健センター
(川角305番地1)

☎049-294-5511 ☎049-295-5850

☎=毛呂山町健康マイレージ事業対象事業

歯から始める健康ライフ!
『歯周病検診』マ

歯科医師の歯周病検診と歯科衛生士の歯みがき指導が無料で受けられるチャンス!
今年度から20歳以上であればどなたでも受けることができますようにになりました。

※今後の状況により、急遽中止になる場合もあります。

日 6月25日(木)午前9時～11時30分(30分ごとの予約制)

場 保健センター

内容 歯周病検診、歯磨き指導

対象 町内在住20歳以上の人
36人(先着順)

持 Copp、歯ブラシ

申 6月8日(月)から受付(電話可)。

歯と口の健康週間

6月4日(木)から6月10日(水)は歯と口の健康週間です。自分の歯で毎日食事をおいしく食べることは、心と体の健康を保ち、人生をより一層豊かなものにしてくれます。また埼玉県では、歯科衛生士が歯科診療や口腔ケアの相談に応じ、通院困難な人にはご自宅に伺う歯科医師を紹介する相談窓口を設置しています。

「在宅歯科医療推進拠点」までご相談ください。

☎ 入間郡市地区在宅歯科医療推進窓口 ☎0800-885718020

健康マイレージの
商品券引換申込開始

毛呂山町健康マイレージ事業の商品券引換申込みが始まります。「毛呂山町健康マイレージ」を20ポイント以上貯めた人は、ポイントを商品券と引き換えることができます。なお、申込み期間と引換期間はそれぞれ異なりますのでご注意ください。
※20ポイントにつき500円分の商品券を1枚贈呈。

町のお知らせを
スマホでチェック♪

毛呂山町では、LINEやTwitterでも、最新の行政情報を発信しています。

毛呂山町公式
LINE@



メニュー>友だち追加>
検索>「毛呂山町」で検索

毛呂山町公式
twitter
@moroyama_town



問合せ 役場秘書広報課広報広聴係
☎295-2112 内332



※商品券の引換期間は「7月20日(月)～8月21日(金)」です。
※9月14日(月)～30日(水)に2回目の商品券引換申込み期間を設けます。詳しくは9月号の広報をご確認ください。

場 保健センター

対 健康マイレージポイントを20ポイント以上貯めた人

持 健康マイレージポイントカード

申 6月15日(月)～30日(水)



町の無料相談

相談種類		日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ
法律相談	弁護士	6/9(火)、6/22(月) 7/14(火)、7/27(月)	13:30~16:00	役場会議室 (6月中は電話にて実施)	役場総務課 ☎ 313 (要予約)
	行政書士	6/17(水)、7/15(水)	10:00~15:00	役場会議室	役場総務課 ☎ 313
人権・行政相談		6/11(木)、7/9(木)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課 ☎ 313
成人健康相談		7/14(火)	9:00~12:00	保健センター	保健センター ☎ 294-5511
電話健康相談		平日	9:00~17:00	保健センター ☎ 294-5511	
育児ほっと相談室		7/1(水)	10:00~11:45	保健センター ☎ 294-5511	
もの忘れ相談会		毎月第3木曜日	10:00~12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎ 295-2112 ① 126
子育て相談 なんでも話してみよう		6/12(金)、7/10(金) 6/26(金)、7/31(金)	10:00~11:00	役場相談室 子育て支援センター	子育て支援センター ☎ 294-4820
教育相談		平日	10:00~16:30	教育センター ☎ 295-2525 (電話相談可)	
消費生活相談		毎週火曜日	10:00~15:00	役場相談室	役場産業振興課 ☎ 214
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外		平日	8:30~17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (ウィズもろやま内) ☎ 080-2274-1445	



長瀬地区や大師地区の家のなかには、角をもつ鬼のような絵を描いた不思議な御札を貼っている家を見かけることがあります。この御札は、「角大師」とも呼ばれる平安時代に活躍した天台宗の僧良源の伝説がもととなり、作られるようになった御札です。

延喜12年(912)、近江国(現在の滋賀県)で生まれた良源は、少年期に比叡山に上り、天台教学を学び、修行を重ねていきました。修行のなかで良源は、火災により焼失したお堂や塔の再建、信徒の規律の維持、天台宗の学問の発展など多くの功績が認められ、康保3年(966)に天台座主となりました。良源は、生涯に3千人という弟子を育て、永観3年(985)に亡くなりますが、命日が1月3日(正月)であったことから良源を慕う人々からは「元三大師」の名で親しまれています。良源の生涯にはさまざまな伝説が残されていますが、そのなかでも有名なのが疫病神を退散させたお話です。

平安時代、天然痘をはじめとした疫病の流行により、多くの人々が命を落としました。

人々の苦しみを救おうと考えた良源は、大きな鏡に自らの姿を映し、静かに坐禅を組み、神仏に祈りました。寝食も取らず一心に祈り続けた良源の身体は、骨が浮かび上がり、目が窪むほどに痩せ細り、角をもつ鬼のような姿となりました。しかし、鬼気迫る良源の眼力に疫病を広めていた疫病神は怯え退き、疫病流行はおさまった、と語られています。

このとき良源は、鏡に映る鬼のような自分の姿を弟子に描かせ、その絵を版木として刷った紙を魔除け・疫病除けの護符としたのが角大師の御札の始まりです。

医療が未熟な時代、病気をはじめとする災厄は外からやってくるものと信じられていました。そのため角大師の御札は、良源の法力にあやかり家に入ろうとする邪悪を払うために、玄関などの出入口に貼られました。長瀬地区や大師地区では、お正月に地域の寺院で配られた角大師の御札を前年の御札と張り替え、一年の家内安全・疫病退散を願う風習が今も残っています。病気を家に持ち込まず、家族の健康を願う人々の思いは、今も昔も変わらなかつたことが窺えます。



角大師の御札